

第 43 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 5 月 6 日（木）午後 6 時 00 分から午後 6 時 12 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、舟本副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・ 感染者の全国的な拡大が続き、特に京都府、大阪府、兵庫県、東京都では緊急事態措置が実施されているところでございます。
- ・ 本日は、緊急事態措置の期限が 5 月 11 日までということを踏まえまして、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・ それでは西脇知事に会議の進行をお願いいたします。

【知 事】

- ・ この間ゴールデンウィーク期間にも関わらず、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に心から深く感謝を申し上げたいと思います。
- ・ また、府民の皆様、事業者の皆様にも、緊急事態措置の実施について、大きな御負担をおかけしておりますが、御協力をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。
- ・ 本日の府内の新規感染者数は 130 人、7 日間の平均では 129.3 人、直近 1 週間と先週の 1 週間を比較いたしますと、0.943 倍でございます。
- ・ いわゆる高止まりの状況だと思っております。
- ・ 1 を切っておりますが、ゴールデンウィーク中ということもありまして、今後の感染者の状況については、予断を許さない状況と思っております。
- ・ この間、緊急事態措置を実施してまいりましたが、本日は、先に開催をいたしました専門家会議の御意見も踏まえながら、今後の対応について議論をしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
- ・ まずは感染状況、人流の状況について、健康福祉部長及び危機管理監から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【知 事】

- ・ 続きまして、緊急事態措置を実施すべき期間の延長に関する政府への要請について、危機管理監から、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 3 に基づき説明

【知 事】

- ・ ここまでの報告、事務局案について、松井議長から、御助言をよろしくお願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・ 現在の感染状況は、まん延防止措置、あるいは緊急事態措置の効果が十分に表れているとは言えない状況です。
- ・ 緊急事態措置の効果の判断はもう少し時間がかかりますが、現状から、予定されている 11 日で解除するという段階には至らないと考えております。
- ・ 京都府においては、感染者数こそ高止まりで、増加が続いているというわけではありませんが、これは連休中の検査対応や受診控えなど、影響を考えなければなりません。
- ・ 注視しなければいけないのは、重症者数であります。
- ・ 感染者は全て追いきれないとしても、重症者は全て治療が必要ですので、実数として評価できます。
- ・ 現在の重症者数は、第 3 波をすでに上回っております。
- ・ 感染者の波に遅れて重症者の波が訪れるということから、今後、病床がオーバーフローするということも十分考えられます。
- ・ 専門家会議といたしましても、措置の延長の要請をお願いしたいと思います。
- ・ また、一層の感染防止の取り組みを府民の皆様をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

【知 事】

- ・ ゴールデンウィーク中も多数の入院患者の御対応をしていただきました、医師会はじめ、医療従事者の皆様へ、改めて感謝を申し上げたいと思っております。
- ・ 新規の感染者数が少し遅れて、病床に負担をかけるということで、まさに今が正念場だと思っております。
- ・ 医療崩壊を引き起こさないためにも、引き続き、強い措置が必要ではないかと思っておりますので、よろしくお願いします。
- ・ 次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくお願いします。

【京都市危機管理監】

- ・ 京都市の感染者数は、京都府の約6割強程度をずっと推移しております。
- ・ 第3波のときは、一番ピークの時で、1週間あたりの平均が、90人程度でありました。
- ・ 第4波になりまして、24日、25日あたりに、110人を京都市域で超えてくるような日がございまして、第3波の1週間あたりのピークに達しました。
- ・ 本日も含めた直近の一週間では、71人まで落ちておりますが、ここの見立てが非常に難しいと思います。
- ・ 緊急事態宣言で何とか抑え込んでいるとも思っておりますが、一方で、ゴールデンウィークで感染者数が低く出ているという可能性もありますので、引き続き推移を注視する必要があると思っております。
- ・ 病床は緊急事態の状況ですので、抑え込みを続けるためにも緊急事態措置の延長は必要不可欠だと思っております。
- ・ 引き続き、連携を密にしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【知 事】

- ・ この間、路上の飲酒の見回り、飲食店への見回り、各種の啓発活動で大変お世話になっておりまして、今後とも府市協調で、進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 他に何か御意見等がなければ、事務局案によりまして、会議終了後、緊急事態措置を実施すべき期間の延長について、政府に要請することといたしますので、よろしくお願いいたします。
- ・ その他に、各部局から報告がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。
- ・ 府内の感染状況は依然高止まりということで、人の流れを止める、また、飲食の機会における感染リスクを抑えることで、感染者数を減少に転じさせ、府内の医療提供体制を守っていくのが、極めて重要だと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 特に、今日は2点について申し上げます。まず1点目は、緊急事態措置を実施すべき期間を延長することといたしましたので、今後は具体的な措置について、国とも調整のうえ、早急に検討を進めていただきたいと思いますと思っております。
- ・ 2点目は、ゴールデンウィークが明け、会社、学校が始まり、人と人との接触の機会が増えるということは、感染リスクが高まることが懸念されますので、医師会とも連携しながら、医療提供体制のさらなる拡充、それから、今週末から高齢者へのワクチン接種が始まりますが、このワクチン接種を、いかに迅速かつ確実に進めていくのかということも、非常に重要な課題となっておりますので、その点を早急に進めていただきたいと思いますと思っております。
- ・ 緊急事態措置が延長されるということになれば、引き続き府民の皆様、事業者の皆様には、多大な御負担をおかけすることになります。非常に高止まりした感染状況でございますので、引き続き、医療提供体制を守るためにも、御理解、御協力を賜りたいと思っております。
- ・ 京都市、医師会の皆様、関係者の皆様と連携しながら、万全の体制をとってまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 全庁挙げて対応していただくよう、私からも指示したいと思います。よろしくお願いいたします。

【危機管理監】

- ・ 関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いいたします。
- ・ 松井議長、三科危機管理監におかれては、御出席賜りまして、誠にありがとうございました。
- ・ 以上をもちまして、対策本部会議を終了いたします。